

## Vineyard – 我々のブドウ畑

個性があり、産地の特徴をうまく表現した偉大なワインというのは、常に畑で生まれるものです。ワイナリーで造られるものではありません。我々はこの考え方に忠実でいたいと考えています。

我々の自社畑は有機栽培であり、ニュージーランドにおける有機栽培の認証団体である“Bio Gro”から認証を受けております。また、その他の契約農家の畑についても有機栽培への転換を進めています。

我々の収穫量に対する考え方は非常に厳しく、またブドウがバランスよく満遍なく成熟するよう適切なキャノピーマネジメントを行います。ブドウは手摘みで収穫され、ワイン造りもほぼ手作業で行われます。年産約 6000 ケースで、ワイン造りはあらゆる局面で注意深く行われます。

セントラル・オタゴ地区は南緯 45 度に位置する最南端の生産地です。ブドウの成育期における朝夕の寒暖差は激しく、非常に乾燥しています。また毎年、春の霜害対策は不可欠です。

セントラル・オタゴ地区の土壌は、大昔に存在した氷河に由来するシスト（片麻岩）を母岩とするユニークなもので、ブドウ栽培が開始される以前、過去にほとんど耕作がなされておりました。

セントラル・オタゴ地区は大自然が織りなすダイナミックな景観が特徴的ですが、地勢や微気候、土壌構成等の違いにより、いくつかのサブ・リージョン（小地区）に色分けされます。それぞれのサブ・リージョンには個性があり、ワインの香味に驚くべき違いをもたらしています。我々の全ての自社畑、契約農家のブドウ畑はセントラル・オタゴ地区に点在し、それぞれが各々のサブ・リージョンの個性を発揮しています。

### 自社畑

Morrison Vineyard (モリソン・ヴィンヤード) — Lowburn (ロウバーン)

Muirkirk Vineyard (ミュアカーク・ヴィンヤード) — Bannockburn (バンノックバーン)

Drumlin Vineyard (ドラムリン・ヴィンヤード) — Gibbston (ギブストン)

### 契約農家畑

Pisa Terrace Vineyard (ピサ・テラス・ヴィンヤード) — Lowburn (ロウバーン)

L'attitude Vineyard (ラティテュード・ヴィンヤード) — Lowburn (ロウバーン)

Susan's Vineyard (スーザン・ヴィンヤード) — Gibbston (ギブストン)

## Vineyard in Bannockburn      バンノックバーン地区 のヴィンヤード

バンノックバーン。このサブ・リージョンから産出されるワインの品質はフェルトン・ロードやマウント・ディフィカルティといった著名ワイナリーの名によりすでによく知られますが、我々もこの地にすばらしい畑を有しております。ミュアカーク・ヴィンヤードです。

この畑は北西向きの緩やかな斜面で、非常に多彩な土壌構成を持っています。主として、表土は厚く密度感のある粘土ローム層で、シストや砂利、小石交じりの層がその下に控え、その中にとろどろに炭酸カルシウムが沈殿した薄い層が広がっています。この粘土ローム層は優れた保水性を示すため、灌漑の必要性が少ないのではないかと考えています。

2008年現在でピノノワールのクローン6が1ヘクタール、今後、段階的に10/5、Abelといったピノノワールのクローンを植樹する予定です。

畑の標高はおよそ250メートル。GDD（積算日照量）は1150、降雨量はおよそ400mm/年です。

## Vineyards in Lowburn      ローバーン地区 のヴィンヤード

Morrison Vineyard（モリソン・ヴィンヤード）はマウント・エドワードの自社畑であり、ローバーン地区に7.5ヘクタール有します。クロムウェルからワナカに伸びる6号線ハイウェイ（ワナカロード）の脇に所在し、1997年にピノノワールが植樹されました。

畑の土壌はシルト／粘土ロームに覆われた砂利交じりのシストの沖積土。

畑の標高は220m、GDD（積算日照量）は1,250（2007年）、年間降雨量は375mm。

現在、畑にはピノノワールが6ヘクタール（ポマル、エイブル、そして777、667、115といったディジョンクローン）、リースリングが1ヘクタール（クローン239、クローン110）、そしてグリュナ・フェルトリーナが0.5ヘクタール植えられています。ピノノワールの平均収量は30ヘクトリットル程度に厳しく制限しております。

Pisa Terrace Vineyard（ピサ・テラス・ヴィンヤード）は、Mt. Pisaの麓にあるテラス状の美しいブドウ畑です（7ヘクタール）。モリソン・ヴィンヤードより55mほど標高が高く、土壌は主に、小石交じりの沖積土及びローム。年間降雨量は350mm、GDD（積算日照量）は平均1,225。

このブドウ畑はジョン、ロベルタ・モンテロ夫妻により2001年に開墾されました。高品質のブドウを産する畑としてすばらしいポテンシャルのある畑で、標高が高いことに由来するフィネス

溢れるテロワールは、近隣のモリソン・ヴィンヤードとはまた違った個性を放ちます。クローンは 777、667、115 といったディジョンクローンにポマール、エイブルクローン。ヴィンヤードオーナーのジョン・モンテロ氏とマウント・エドワードの栽培長ティム・オースティンがこの畑を運営、管理しています。

L'Attitude Vineyard (ラティテュード・ヴィンヤード)はメリル、ジョン・ホールズワース夫妻により運営される契約農家畑です。過去 2 年の我々のリースリングはこの畑のリースリングがベースになっています。畑は、標高が 230m と最も低い位置にあるため Lowburn 地区内では最も暖かい気温となる一方、ダンスタン湖の湖岸に位置するという地理的条件から、湖からの冷涼な空気の影響を受け、幾分やわらいだものとなり、結果 GDD (積算日照量) は 1,180 (2007 年) とロウバーン地区内の 3 つの畑の中では 1 番低くなっています。土壌は、砂利や小石の厚い層の上に黄土 (レス) の表土が広がる構成になっています。

## Vineyard in Gibbston      ギブストン地区 のヴィンヤード

The Drumlin(ドラムリン・ヴィンヤード)。“Drumlin”は「氷河由来の小さなまるい丘」という意味のケルト語で、この畑は当ワイナリーの我が家的存在、出発点です。

自社畑の中で 1 番古く、1995 年に創業者であるアラン・ブレイディにより数種のリースリングのクローンを植えられました。ワイナリー横の急斜面にある北向きの小さな畑です。ブドウは極めて低収量で収穫され、ミネラル感の強い、氷河由来の土壌の性質を反映した仕上がりのワインになります。

畑の標高は 375m。北向き、傾斜角 30 度の斜面で、氷河が削り取ったシストの分厚い層の上に、薄い黄土 (レス) の表土が広がる土壌構成です。

Susan's Vineyard(スーザン・ヴィンヤード)は、ワイナリーから約 200m はなれたところに位置する、0.6 ヘクタールの小さな畑です。スーザン、ティエリ・スティーブンス夫妻所有の畑です。北向きの緩やかな斜面にある畑で、やや重めで、ミネラル分を多く含む黄土層が、シストを中心とした沖積土を覆う土壌構成になっています。畑にはポマールクローン、クローン 6、ディジョンクローン 115 が植えられています。

畑の標高は 390m。畑は入念に手入れされ、平均 30 ヘクトリットルの低収量で収穫されるこの畑のブドウからは非常にユニークなワインが醸され、我々にとっての最初のシングル・ヴィンヤードワインとなりました。